

授業科目 公的扶助論 II

【担当教員名】 青木 茂	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

<p>【概要・一般目標：G10】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活保護制度以外の低所得者対策を学ぶことによって多様な課題について理解を深める。 生活保護制度についての知識を元に、生活保護の相談援助活動について位置づけやプロセスを考える。 自立支援プログラムの意義と実際について理解する。 低所得者の就労の現状と支援制度を学び、今後の自立支援の方向性について専門職として視野を広げる。 相談援助職として必要な就労支援マネジメントと連携・ネットワークについて理解を深める。
--

<p>【学習目標・行動目標：SBO】</p> <ol style="list-style-type: none"> 低所得者対策の概要について学ぶことで社会福祉士としての専門的知識を高める。 生活保護・低所得者の相談援助活動の実際について学び、判断力の向上を目指す。 自立支援プログラムの意義と実際について学び問題解決能力を高める。 低所得者と就労支援について理解し幅広い視野でとらえ思考力と判断力の向上を目指す。 就労支援の関係職種との多職種間連携について学び、良好な関係を図る土台を形成する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1, 2, 3, 4, 5	講義
2	低所得者対策の概要（1）生活困窮者自立支援法	1	講義
3	低所得者対策の概要（2）生活福祉資金貸付制度	1	講義
4	低所得者対策の概要（3）社会手当とその他の低所得者対策	1	講義
5	低所得者対策の概要（4）ホームレス自立支援対策	1	講義
6	生活保護の運営・実施体制（1）国・都道府県・市町村の役割	2	講義
7	生活保護の運営・実施体制（2）福祉事務所の役割	2	講義
8	生活保護受給者・低所得者への相談活動	1, 2, 3, 5	講義
9	自立支援プログラムの意義と実際	2, 3	講義
10	低所得者と就労支援	4, 5	講義
11	低所得者の就労支援制度	4, 5	講義
12	低所得者の就労支援における組織・団体、専門職の役割	4, 5	講義
13	就労支援のケアマネジメント	4, 5	講義
14	就労支援の連携・ネットワークング	4, 5	講義
15	まとめ	1, 2, 3, 4, 5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	低所得者に対する支援と生活保護制度	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,200円・最新版
	就労支援サービス	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	1,600円・障害者福祉論で使用したテキストを持参すること
参考書	厚生指針 増刊「国民の福祉の動向」	厚生統計協会	厚生統計協会	2,100円・最新版
	社会保障の手引き		中央法規	2,800円・最新版
	生活福祉資金の手引		筒井書房	2,476円・最新版
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、授業態度、定期試験の結果を総合的に評価する	【履修上の留意点】
--------------------------------------	-----------